

掲載元：南海日日新聞
掲載日：9月1日

島の方言、より身近に

シمامニLINEスタンプ作成

沖永良部

【沖永良部総局】沖永良部島方言(シمامニ)継承に取り組み、島むにむんちやの島むに保存会(田中美保子会長)は25日、シمامニを使ったSNS(インターネット交流サイト)「LINE」のスタンプ作成研修会を開いた。親子連れなど17人が参加。シمامニを学びながら独自のスタンプ作りを楽しんだ。

国立国語研究所消滅危機言語保存プロジェクトに関わる国際交流基金の高智子日本語教育専門員が講師を務め、南山大学人文学部日本文化学科の岩崎典子教授、同教授のゼミ生3人がサポートした。



この日の研修では高さんがスタンプ作りの手順を説明。参加者はそれぞれのスマートフォンにスタンプ作成専用アプリをインストールした後、自身が撮った写真などを背景に使い、「ミヘディロドー(ありがとう)」「ウトゥルシャン(すごい)」などシمامニで一言を入れたスタンプを作った。

高さんによると、今回の研修でつくったスタンプは販売申請して許可が出たら、作成者のみタウンロードして利用でき、友達にプレゼントもできる仕組みになっているという。

参加した亘喜心さん(16)は「沖永良部高1年」は「このスタンプが沖永良部の人だけでなく、他の地域の人にも広まっていったらいいかなと思った」と感想。田中会長は「スタンプを通して、ちょっとしたシمامニを知ってもらえたら」と話した。

研修会は24日に知名町田皆でもあった。